

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2003-517932(P2003-517932A)

【公表日】平成15年6月3日(2003.6.3)

【出願番号】特願2001-546806(P2001-546806)

【国際特許分類】

B 21B 31/18 (2006.01)

B 21B 13/00 (2006.01)

【F I】

B 21B 31/18 Z

B 21B 13/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ハウジングを含み、該ハウジングの内側に中空外側軸と、該外側軸を回転させる手段とが回転可能に設けられ、さらに前記外側軸の内側に該外側軸の回転運動を伝達するように中心軸が設けられ、該中心軸は軸方向に移動可能であり、かつ軸方向に固定することができ、該中心軸にはローラが設けられている、プラネタリ圧延装置用ローラヘッドにおいて、調節軸が前記外側軸のヘッドに回転可能に配設され、該ヘッドは前記ローラの反対側の端部にあり、かつ実質的に軸方向に固定され、前記調節軸には前記中心軸にあるねじ切り部の対応部が設けられ、さらに前記調節軸が固定部材も含み、該固定部材は、固定位置において少なくとも該調節軸と前記外側軸との間ににおいて摩擦継手を形成することを特徴とするプラネタリ圧延装置用ローラヘッド。

【請求項2】請求項1に記載のローラヘッドにおいて、前記固定部材は膨張可能な圧力操作式部材であることを特徴とするローラヘッド。

【請求項3】請求項1または2に記載のローラヘッドにおいて、前記固定部材は液圧操作式スリープ部材であることを特徴とするローラヘッド。

【請求項4】請求項1ないし3のいずれかに記載のローラヘッドにおいて、前記締付け部材は、前記調節軸と同形の部品を構成することを特徴とするローラヘッド。

【請求項5】請求項1ないし3のいずれかに記載のローラヘッドにおいて、前記固定部材は、前記外側軸と前記調節軸との間に配された別個のスリープ部材であることを特徴とするローラヘッド。

【請求項6】請求項1ないし5のいずれかに記載のローラヘッドにおいて、前記中心軸のねじ切り部は、該中心軸に作られた穴に配設され、その場合、前記調節軸の対応部はねじ部材であることを特徴とするローラヘッド。

【請求項7】請求項1ないし6のいずれかに記載のローラヘッドにおいて、前記調節軸は据付装置を調節位置において調節し、該据付装置は計測装置を含むことを特徴とするローラヘッド。

【請求項8】請求項1ないし7のいずれかに記載のローラヘッドにおいて、前記外側軸はローラヘッドのハウジングに、少なくとも2つのラジアルスラスト軸受と、それらの間に設けた軸列軸受とによって回転可能に配設されることを特徴とするローラヘッド。

(2)

JP 2003-517932 A5 2008.1.17